

令和3年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 広島市公共交通活性化協議会（計画策定事業）の概要



広島市の概要

- 昭和60年五日市町を合併、平成17年湯来町を合併
- 人口 120.7万人（令和2年度国勢調査）
- 面積 906.69平方キロメートル

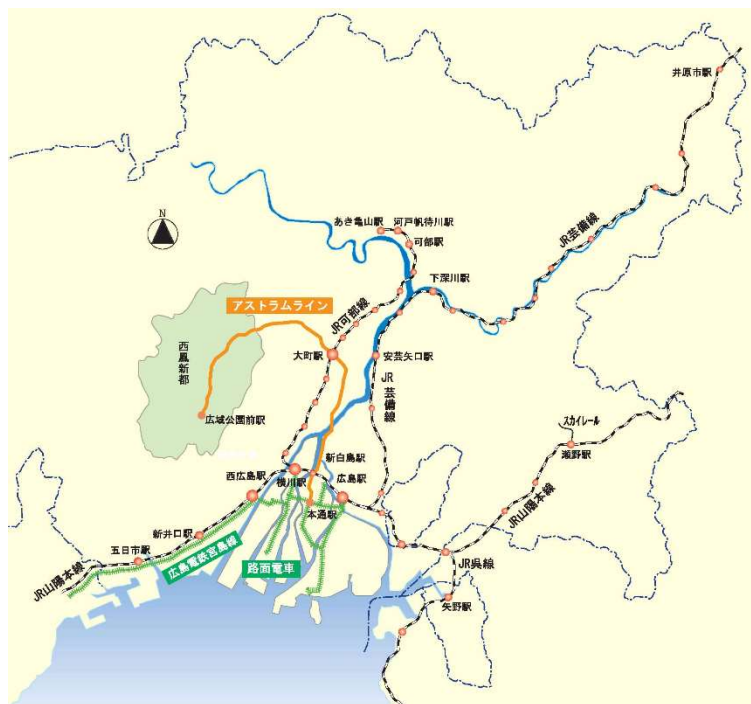
広島市地域公共交通活性化協議会の構成員

広島市、西日本旅客鉄道(株)、広島高速交通(株)、広島電鉄(株)、広島県バス協会、広島県タクシー協会、広島県旅客船協会、(株)広島バスセンター、広島国道事務所、広島県、中国地方整備局、中国運輸局、広島県警察本部、学識経験者、広島市社会福祉協議会、広島消費者協会

地域公共交通の現状

- ・鉄軌道：JR山陽新幹線、JR山陽本線、可部線、芸備線、呉線
アストラムライン、広島電鉄宮島線、路面電車
- ・航路：瀬戸内海汽船(株) ほか9社
- ・4条バス路線：広島電鉄(株)、広島バス(株)、広島交通(株) ほか8社
- ・乗合タクシー：市内6地区 ・高齢化率25.7%

地域公共交通の現況



具体的な課題・問題点

- ・誰もが移動しやすい交通環境の整備
- ・自動車にはない公共交通の魅力の向上と利用促進
- ・都心の回遊を生み出す快適で利便性の高い交通体系の構築
- ・集約型都市構造の実現のための公共交通の充実・強化
- ・ICTを活用した持続可能な移動手段の確保
- ・激甚化・頻発化する災害への対応
- ・地域の多様性に応じた効率的で持続可能な公共交通サービスの提供
- ・交通結節点の機能強化
- ・路面電車とバスの定時性・速達性の向上
- ・行政と各事業者が一体となったきめ細かい交通サービスの提供
- ・「新しい生活様式」への対応

調査事業の実施

調査事業の概要

- ・市民や市内企業に対するアンケート調査
- ・公共交通の利用実態等の整理
- ・地域公共交通計画の評価指標の検討
- ・広島市地域公共交通計画の改定素案の作成

協議会における検討

- 協議会の開催状況 3回開催
- 第1回（6月18日～30日）※書面開催
アンケート調査内容について
 - 第2回（10月25日）
地域公共交通計画（骨子案）について
 - 第3回（1月21日～2月2日）※書面審議
地域公共交通計画（素案）について

地域住民の意見の反映

- 協議会への公共交通の利用者代表の参画
- 令和3年7月～8月にWEBアンケートを実施し、市民3,253名の回答を集計。
- 令和3年7月～9月に市内立地企業に対しWEBアンケートを実施し、147企業の回答を集計。

事業実施の適切性

- 事業が計画どおり適切に実施された。
- 地域公共交通計画策定に必要な調査ができた。

調査事業の結果の概要

- 市民や市内企業へのアンケート調査により、新型コロナウイルスが与えた影響や終息後の公共交通の利用意向などを把握した。
- 地域公共交通計画に位置付ける機能強化策の整理や評価指標の検討を行い、計画素案を作成した。
- 今後、法定協議会の議論を経て、地域公共交通計画として取りまとめる。



地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針等

- これまで、公共交通を軸とした集約型都市構造の実現に向けて、基幹公共交通などからなる階層性のある公共交通ネットワークの形成に取り組んできたところであり、今後は、輸送需要の減少などの公共交通が直面する危機的な状況を乗り越えるため、新たな課題への対応についても強く意識し、効率的で持続可能性の高い公共交通ネットワークの形成を進める。
- 各ネットワークの役割に応じたサービスの提供や、円滑な乗継のための交通結節機能の強化を図るとともに、ソフト面においても利用者の移動ニーズに応えられるサービスを提供し、高齢者や外国から来訪者を含むすべての「利用者にとってわかりやすく使いやすい持続可能な公共交通体系」の構築を目指す。

